

令和5年度進行管理・評価シート
鶴岡市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和5年3月29日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の円滑な推進	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 整備方針策定事業	3
2 門前町歴史まちづくり活動支援事業	4
3 宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業	5
4 羽黒山スギ並木保全活用事業	6
5 協議会活動支援事業	7
6 シルクノチカラ未来創造事業	8
7 鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業	9
8 城下のまちつるおか推進事業	10
9 歴史まちづくり人材育成事業	11
10 鶴岡公園園内整備事業	12
11 蚕室群活用整備事業	13
12 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業	14
13 民俗芸能保存伝承支援事業	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	16
2 文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業	17
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 鶴岡の風致維持向上計画の第2期 国の認定を受ける ほか	19
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史的風致維持向上計画事業実施の効果	20
2 歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応	21
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
計画の円滑な推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- 計画の進捗管理・評価、計画推進に係る事項・計画変更の協議は鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会を中心に行う。
- 建設部都市計画課、企画部政策企画課、商工観光部観光物産課、教育委員会社会教育課、羽黒庁舎総務企画課及び産業建設課を事務局とし、連絡調整を行い計画の円滑な推進に努める。
- 必要に応じて鶴岡市文化財保護審議会及び鶴岡市景観審議会、鶴岡市都市計画審議会などに計画の実施状況を報告し意見を求める。

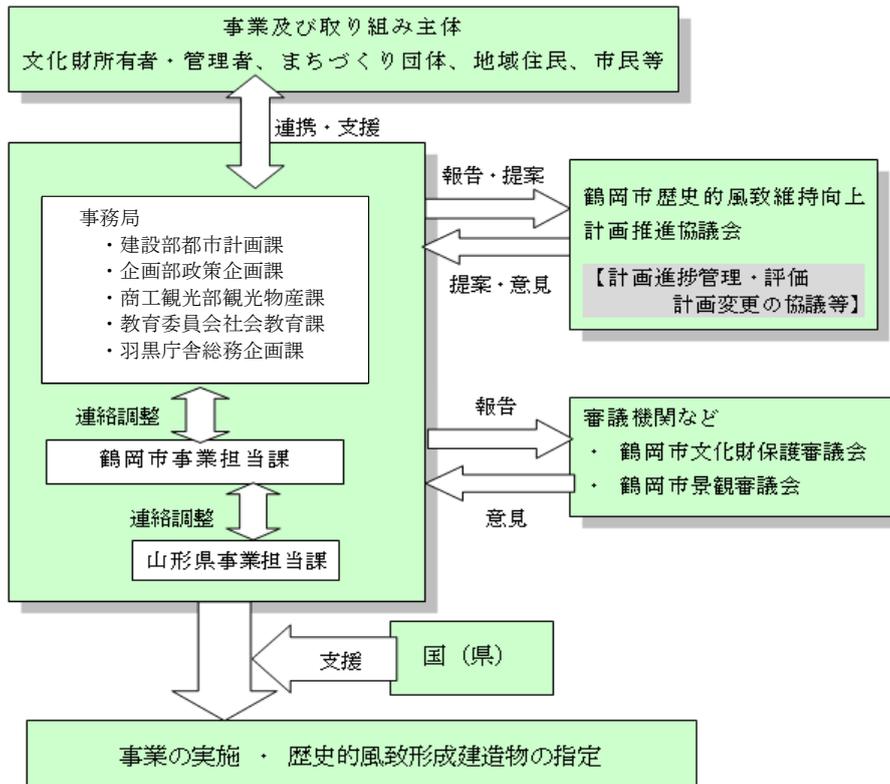
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市には鶴ヶ岡城下町地区、羽黒手向地区、羽黒松ヶ岡地区の3つの重点区域があり、各地域において施設整備や地域振興を所管する担当課を中心として、文化財事業を所管する教育委員会部局と商工観光部局が連携し、計画の進行管理と歴史まちづくりを通じた本市の魅力発信に努めている。
 会議等の開催は、令和6年2月2日に副市長を会長とし庁内関係部課長で構成する推進会議、同2月20日には鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)を開催しているほか、関係課担当者会議を実施し、計画の適正な執行と円滑な進行管理を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- | | |
|---|---|
| 令和4年度庁内推進会議(令和5年2月7日)
①令和4年度の事業報告・事業評価、計画の変更について
②鶴岡市歴史的風致維持向上計画(第2期)について | 令和4年度第12回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(令和5年2月21日)
①令和4年度の事業報告・事業評価、計画の変更について
②鶴岡市歴史的風致維持向上計画(第2期)について |
| 令和5年度庁内推進会議(令和6年2月2日)
①令和5年度の事業報告・事業評価
②計画の変更について | 令和5年度第13回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(令和6年2月20日)
①令和5年度の事業報告・事業評価について
②計画の変更について |



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<input type="checkbox"/> 景観計画地域別方針との適合 <input type="checkbox"/> 大規模建築物等の景観に関する制限	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>・平成20年5月に策定した「鶴岡市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施していたが、再生可能エネルギーへのシフトとこれまで営まれてきた景観の保全と調和を図り、歴史的・文化的資源としての景観を今後も継承していくため、令和5年3月に「鶴岡市景観計画」を改訂した。改訂した計画では、基本方針や類型別・景観要素別の方針を見直したほか、大規模再生可能エネルギー発電施設・地域別の方針を定めている。また、行為の制限において、大規模建築物等の制限の見直し、歴史的風致維持向上計画の重点区域であり日本遺産にも認定された「羽黒地域手向地区」、「羽黒地域松ヶ岡地区」を追加した。</p> <p>・令和5年度は、景観計画区域内(市全域)における大規模建築行為について市全域で15件の届出を受付、良好な景観形成のために意匠や色彩に関する指導を実施した。</p>		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
<p>令和5年度における大規模建築物の届出</p> <p>景観計画区域内における行為の届出</p> <p>届出件数 17件(令和6年3月31日現在)</p> <p>届出行為地域別内訳 鶴岡8件、藤島1件、羽黒7件、櫛引0件、朝日1件、温海0件 計17件</p> <p>届出対象物内訳 建築物14件、工作物3件、両方0件 計17件</p> <p>区域内における行為 大規模建築行為10件、美咲町シンボルロード地区0件、羽黒大鳥居周辺0件、羽黒地域手向地区7件、羽黒地域松ヶ岡地区0件 計17件</p>		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
整備方針策定事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和5年度 ~ 令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致の維持及び向上のため、歴史的風致維持向上計画(第1期)の取組成果と課題を評価検証し、歴史的風致維持向上計画(第2期)で位置付けた重点区域における整備方針・基本計画を策定する。歴史的風致形成建造物の指定を見据え、重点区域に数多くある歴史的建造物の構造や意匠、平面図作成、歴史的価値を示す調査を行い、歴史的建造物の保存・活用を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画(第2期)は令和5年3月に認定を受けたところであるが、1期計画の認定から10年が経過している。少子高齢化の進行や歴史的建造物所有者の高齢化、伝統文化の担い手の減少や空き家・空き地の増加などの社会情勢の変化も著しく、歴史的建造物所有者や商工観光事業者、地域住民によるワークショップを改めて開催し、計画期間である令和5年度～令和14年度までの10か年において、歴史的風致の維持及び向上を図るための事業を効果的に進めていくため、整備方針・基本計画を策定する。また、歴史的風致形成建造物の指定を見通した物件調査を実施し、歴史的建造物の継承と保存・活用を図っていく。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○歴史的風致維持向上計画整備方針策定業務

- ①ワークショップ開催(令和6年1月29日(月)、2月16日(金))
鶴ヶ岡城下町地区(2回)延べ29名、羽黒手向地区・松ヶ岡地区(2回)延べ33名
- ②整備方針策定業務 報告書作成 一式



ワークショップ開催(1/29・2/16)



ワークショップ開催(1/29・2/16)

○歴史的建造物物件等調査業務

- ①荘内神社 本殿 ②荘内神社 拝殿 ③山王日枝神社 本殿 ④七日町観音堂 ⑤菅家庭園



物件等調査業務
荘内神社 拝殿



物件等調査業務
菅家庭園

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
<p>門前町歴史まちづくり活動支援事業 【羽黒手向地区】</p>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	地域の住民や団体等で構成する協議会が主体となって行うまちづくり協議会やまちあるきマップの作成、住民合意形成のためのワークショップ、シンポジウム開催等の活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>出羽三山魅力発信協議会では、鶴岡市手向地区自治振興会と協働し講演会やマルシェイベント「手向門前市」を開催し、歴史的景観の保全・承継に対する住民意識の高揚や、また、市内外に向けた手向地区の魅力発信に寄与した。 また、宿坊街のまち歩きイベントを開催し、趣のある街なみを体感し宿坊街の歴史文化や伝統を学び、地域の魅力を生かした地域主体の取り組みが積極的に行われた。</p>			
te		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>1. 手向門前市</p> <p>【第1回】※ホテル観賞会と同時開催 ○日時 令和5年7月1日(土)17時～20時 ○場所 随神門前駐車場(御食事処いしい前駐車場) ○来場者 約180人</p>  <p>【第2回】※ツリーイングと同時開催 ○日時 令和5年10月15日(日)10時～14時 ○場所 蝦夷館公園 ○来場者 約120人</p>  <p>2. 手向門前町まち歩き</p> <p>○日時 令和5年11月11日(土)9時～14時30分 ○対象 市内小学4年～6年生と保護者(兄弟参加可) ○内容 ・宿坊街まち歩き、クイズラリー ・胡麻豆腐、お注連作り体験 ○参加人数 親子7組(計18人)</p>  <p>3. 出羽三山魅力発信講演会</p> <p>○日時 令和6年3月10日(日)14時30分～17時 ○講師 高谷時彦氏(株式会社設計計画高谷時彦事務所 代表) 中村 出氏(株式会社ヤマムラ 取締役企画開発部長) 加藤文晴氏(株式会社めぐるん 代表取締役) ○内容 講演「空き家のリノベーションとまちづくり」 講師:中村 出氏 トークセッション「これからのまちづくりについて」 コーディネーター:高谷 時彦氏 パネリスト:中村 出氏、加藤 文晴氏 ○参加人数 約30人</p> 			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街のまち並みを保全し風致を維持するため、道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構部分など宿坊街の佇まいを感じさせる特徴的な構造物について所有者等がまちづくり協定を策定した上で修景整備への支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用し、令和5年度は5件の修景整備が実施され、さらにまちなみの連続性が高まり、良好な景観が形成された。(平成29年度6件、平成30年度7件、令和元年度6件、令和2年度6件、令和3年度7件、令和4年度7件、令和5年度5件、7年間合計44件整備)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1. 「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用した修景整備
 門前町手向地区固有の歴史あるまちなみ保全を目的に、道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構など、宿坊街の佇まいを感じさせる特徴的な構造物について、統一感のある修景整備を行う住民に対して、費用の一部を補助した。

- 桜小路集落 1件(宿坊1件)…門柱の立替、車庫の外壁塗装・シャッター交換
- 松原町集落 4件(住宅4件)…車庫の外壁塗装・シャッター交換・減築整備

修景整備事業1



修景整備事業2



修景整備事業3



修景整備事業4



2. 「手向まちなみ委員会」の開催
 ○期 日 令和5年7月12日(水)
 11月1日(水)
 令和6年1月31日(水)
 ○内 容 申請内容等の審査・検討

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
羽黒山スギ並木保全活用事業 【羽黒手向地区】			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	出羽三山神社・荒沢寺の祭礼行事に欠かすことのできない羽黒山スギ並木の歴史的景観を保全することを目的とし、国指定特別天然記念物「羽黒山のスギ並木」を含む、羽黒山参道及び歴史的景観の保全に向けた調査研究を行う団体へ支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>羽黒山スギ並木保全とまちづくり協議会が実施した、羽黒山への来訪者意識調査や杉並木デモ調査により、現状と今後の対策について確認できた。</p> <p>また、協議会が連携協定を締結した北海道大学とのオンライン研究会などを通じて、調査結果への考察や知見の提供により、短期的・中長期的な今後の対策について共通認識が図られた。</p>			
te	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>1. 事業始動式</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日時 令和5年8月24日(木)13:30～15:30 ○場所 羽黒山随神門前 ○内容 <ul style="list-style-type: none"> ・連携協定書のお披露目 ・杉(御神木)の置物を公開 ・羽黒山スギ並木の現状解説 ○参加人数 約50人(関係者含む) 			
			
<p>2. 来訪者意識調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日時 令和5年9月16日(土)13時～19時 ○場所 羽黒山随神門前 ○内容 羽黒山に訪れる観光客等をターゲットに 対面によるアンケート調査 ○回答数 約300件の回答を取得(10月末まで) 			
			
<p>3. 杉並木デモ調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日時 令和5年11月7日(火)9時～12時 ○場所 羽黒山スギ並木参道付近・五重塔付近 ○内容 <ul style="list-style-type: none"> ・3D地上レーザー測量(株式会社環meguru) ・樹木腐朽診断(株式会社環meguru) ・プレゼンテーション 			
			
<p>4. 北大とのオンライン研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日時 令和5年12月18日(月)16時～17時 ○場所 羽黒庁舎(ハイブリット開催) ○内容 <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果の考察 ・先進事例や知見の提供 			
			

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
協議会活動支援事業(松ヶ岡振興支援事業) 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	松ヶ岡地域では明治初期に行われた開墾当時の形態を継続し、施設や開墾当初の趣旨目的、実践の多くの部分が今も守られている。これらを背景としたビジョンを策定し、将来的にソフト活用と連動して史跡内建造物を有効活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>松ヶ岡地域住民と場内事業者が中心となり策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」(H26年度～R3年度)、また、日本遺産事業の一環として住民ワークショップを通して立案した日本遺産ブランド戦略「松ヶ岡クラフトPARK構想」(H30年度)に基づく具体的なソフト事業として、様々な催し等を実施。事業を通じて、広く歴史的資産の価値を共有し、松ヶ岡地域への関心が高まることにより、この地域の歴史や文化が維持・継承されることにつながる。</p> <p>あわせて、日本遺産としての魅力をより一層高めることを目的として、蚕室群の活用や周辺環境の整備を行っている。</p> <p>参考:1番蚕室松ヶ岡開墾記念館の入館者数 H25年度2,400人→R元年度4,700人→R5年度3,999人(R5.12月末)</p>			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>「史跡内及び周辺修景整備事業」及び「蚕室群活用整備事業」で開墾場周辺の回遊性を高める通路・多目的広場と絹織物体験施設が完成した。</p> <p>令和4年3月に新たな団体「史跡松ヶ岡開墾場管理運営協議会」が設立。協議会の実施する事業等に対し支援を行っている。</p>		
状況を示す写真や資料等			
<p>〇イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松ヶ岡桜まつり&春の桜マルシェ(4/15、16) ・松ヶ岡茶 茶摘み紅茶づくり体験(7/22、23) ・桃市！食市！松ヶ岡！(8/4) ・松ヶ岡クラフトフェス&松ヶ岡秋の収穫マルシェ(9/30,10/1) ・松ヶ岡雪まつり(1/27) 			
			
松ヶ岡桜まつり&春の桜マルシェ		松ヶ岡茶 茶摘み紅茶づくり体験	
			
桃市！食市！松ヶ岡！		松ヶ岡クラフトフェス&秋の収穫マルシェ	
			
松ヶ岡雪まつり		松ヶ岡雪まつり	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
シルクノチカラ未来創造事業 【全地域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国内唯一の絹の地域内一貫生産がある地域において、絹産業や絹文化の歴史・魅力を発信することにより、文化的価値の継承につながり歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の近代化の礎となった絹産業の文化を保存継承しながら、新たな産業振興と絹文化の創造・発展を目指すため、産業や文化、地域コミュニティなどの観点から絹産業を生かした取組を展開した。

○産業

- ・キビソ等鶴岡シルクのブランド化・販売促進(鶴岡織物産地振興事業)
- ・産地高度化事業 ……他繊維産地や高度な技術連携による鶴岡シルクの商品開発と松ヶ岡開墾場でのPR
- ・ブランド化事業 ……海外展開を視野に入れた商品開発、海外マーケティングやブランド構築
- ・販売促進事業 ……海外での企画展示、首都圏・市内観光施設・温泉旅館での催事販売

○文化

- ・蚕飼育体験 ……市内幼・保育園、小・中学校、高校等における蚕飼育体験(52施設、6個人・計111キット)、3、4番蚕室での蚕展示飼育
- ・シルクで頑張る若者応援プロジェクト……シルクに関わる若者の創造性と活動を伸ばすため、市内高校生がシルクをテーマとして取り組む探究活動や普及啓発事業へ支援。
鶴岡中央高校では、被服を学ぶ生徒によるシルクドレスの製作に取り組んでいる。

○地域コミュニティ

- ・養蚕環境整備事業……閉校の校舎を活用した養蚕環境の整備。地域コミュニティの活性化と生きがい作りに取り組んだ。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

シルクの取り組みは事業開始から14年目を迎えた。幼保育園で蚕飼育を体験した高校生がシルクの探究活動に取り組むなど、新たなシルクを活用した地域振興が図られている。

状況を示す写真や資料等



kibiso shop
(松ヶ岡開墾場4番蚕室内)



蚕室での蚕展示飼育



高校生による探究活動
(絹産業関連企業見学)



シルクガールズコレクションin松ヶ岡

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 鶴岡市の歴史まちづくりに関する講演とシンポジウム、重点区域のまち歩き等を組み合わせた事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大河ドラマ「どうする家康」では、徳川四天王筆頭の酒井忠次が大きく取り上げられたことから、ドラマの時代考証を担当した学識者による歴史講演会と、出演者・プロデューサーによるトークショーを開催。酒井家庄内入部400年を契機として地域の歴史・文化の学びを深めた。

・歴史講演会

日時/会場/参加…6月3日(土) 午後1時30分～4時30分/鶴岡市中央公民館/ 300人

テーマ…家康と忠次が生きた時代ー危機を乗り越えた先にー

講師…平山 優 氏(健康科学大学特任教授、武田氏研究会副会長、大河ドラマ「真田丸」「どうする家康」時代考証、映画「信虎」武田家考証)

柴 裕之 氏(東洋大学文学部非常勤講師、大河ドラマ「どうする家康」時代考証)

・大河ドラマ「どうする家康」スペシャルトークショー in 鶴岡

日時/会場/参加…9月9日(土) 午後2時～3時15分/荘銀タクト鶴岡/850人

出演…大森 南朋 氏(俳優・酒井忠次役)、磯 智明 氏(大河ドラマ「どうする家康」制作統括)

羽隅 将一 氏(NHK山形放送局アナウンサー)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



歴史講演会

致道博物館で開催した
特別展「徳川家康と酒井忠次」と連動



大河ドラマ「どうする家康」
スペシャルトークショー in 鶴岡

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
城下のまちつるおか推進事業 【鶴ヶ岡城下町地区、羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度 ～ 令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、地方創生推進交付金

計画に記載している内容 松ヶ岡開墾150年、酒井家庄内入部400年を契機として、上質な街並みや景観などの空間整備、歴史的建造物の保存活用を関係団体等と連携して検討、整備する。また、これらを資源とする戦略的な観光誘客などを展開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

酒井家庄内入部400年の節目を契機とし、シビックプライド・郷土愛の醸成と地域固有の歴史文化を生かした交流拡大を図り、令和3年・4年と2か年で実施した記念事業を継承し、その成果を将来につなげるため「NEXT100事業」を展開した。
 (参考)R3: 歴史講演会、歴史講座、親子記者プロジェクト 等
 R4: 記念式典、ミュージアムスタンプラリー、高校生学芸員体験 等
 令和5年のNHK大河ドラマ「どうする家康」では、徳川四天王筆頭の酒井忠次が大きく取り上げられたことからNHKと連携することで、効果的なシティプロモーションにつなげた。

- 酒井家庄内入部400年記念事業 NEXT100
 - ・高校生学芸員体験「ChiDoアカデミー」(①歴史編 8/6:9人、②美術編 8/9:7人、③民俗編 8/10:10人)
 - ・庄内二市三町を周遊する庄内地域ミュージアムスタンプラリー(9/1～11/30:参加館29施設)
 - ・歴史講演会(6/3鶴岡市中央公民館:300人)
- NHK相互協力事業
 - ・「どうする家康」相互協力冊子制作(90,000部、市内の文化・観光施設、隣県の観光案内所、道の駅等に設置)
 - ・大河ドラマ「どうする家康」スペシャルトークショー in 鶴岡(9/9荘銀タクト鶴岡:850人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



高校生学芸員体験「ChiDoアカデミー」



ミュージアムスタンプラリー



歴史講演会(再掲)



大河ドラマ相互協力冊子
酒井家ゆかりの地を紹介する街歩きマップ等を掲載



城下町・鶴岡の市街地にPRのぼりを掲出



大河ドラマ「どうする家康」
スペシャルトークショー in 鶴岡(再掲)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり人材育成事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和14年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業
社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の所有者・管理者、鶴岡市ガイドボランティア及び市民等を対象とした、文化財や歴史及び歴史的景観等とその活かし方等に関する学習機会を創出し実施する。
また、歴史的建造物の保全・活用推進を索引していく人材の発掘や育成、歴史的資源の利活用のマネジメントのための学習機会の創出等について関係者を交えた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【鶴ヶ岡城下町地区】
・観光ボランティアガイド…鶴岡市観光ガイド協議会のボランティアガイドが市街地周辺の文化施設等を案内。同協議会では月1回会員の情報共有や研修のための例会を実施。
(令和5年度実績:回数124回、人数1,184人(令和5年12月末現在))

【羽黒松ヶ岡地区】
・日本遺産インフォメーションセンター(新徴屋敷)…松ヶ岡開墾場の案内と日本遺産「サムライゆかりのシルク」を紹介
(令和5年度来館者数3,559人)11月末現在

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【鶴岡公園とその周辺地区】



観光ボランティアガイド
(致道館)



観光ボランティアガイド
(致道博物館)

【羽黒松ヶ岡地区】



日本遺産インフォメーションセンター
(新徴屋敷)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
鶴岡公園園内整備事業 【鶴ヶ岡城下町地区】		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度 ~ 令和14年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 鶴岡公園整備基本計画に基づいた北ブロック(歴史文化ゾーン)整備計画書に基づいた事業を実施する。園路・参道・公園入り口の整備(舗装化、石貼りなどユニバーサルデザイン化)、城址公園内トイレ改修工事、禽舎正面広場の整備および老木樹木の再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年に鶴ヶ岡城跡馬出遺構から出土した石垣の石を活用し、鶴岡公園内の一区画を本市の歴史を親しみやすく身近に感じるモニュメントとして整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<完成写真>



鶴ヶ岡城跡馬出遺構出土石活用整備工事により整備した区画



設置した説明板



出土状況を再現した展示



加工痕が残る石の展示



馬出に見立てたモニュメント

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
蚕室群活用整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・古民家等観光資源化支援事業

計画に記載している内容 松ヶ岡開墾場を歴史的資料や財産として保存するだけでなく、価値を高めるために蚕室を講演会や展示会等を開催する施設として年間を通じ活用し、良好な状態で保存されることで、文化的価値の継承につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度に史跡の確実な保存・伝承のために市が取得した。平成30年度に当史跡の本質的価値と構成要素を明らかにしながら、保存管理と活用整備の方針とする「史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画」を策定。本計画に基づき日本遺産事業と連携しながら年間を通じた活用を推進している。
 令和4年度に5つ現存する蚕室のうち、4番蚕室を絹産業の伝統と文化を発信する体験施設「シルクミライ館」としてオープンした。
 令和5年度は、4番蚕室「シルクミライ館」で鶴岡シルク㈱の新製品「MAKINU」スカーフ記者発表会、5番蚕室で「サムライシルクナイト」「シルクガールズコレクション」「松ヶ岡音楽祭」などを開催。蚕室を活用したイベントを通して、当地の歴史的価値・文化的価値を再確認する機会を創出した。
 5番蚕室では蚕室特有の構造を解説するチラシを作成し来場者に配布。また、2番蚕室東側において活用整備を図り、陶芸教室が貯桑土蔵(R6より保存修理工事予定)より移転している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	4番蚕室「シルクミライ館」や5番蚕室を活用したにぎわい創出が図られている。 新たな観光拠点として、関係部局・地元が連携した周知や誘客の強化が必要。
-------------------------------	--

状況を示す写真や資料等



史跡松ヶ岡開墾場大蚕室群の取得(平成28年6月)



国指定史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画(平成31年3月)



4番蚕室「シルクミライ館」開館(令和4年4月)



4番蚕室での「MAKINU」スカーフ発表会(令和5年4月)



5番蚕室での「サムライシルクナイト」



5番蚕室の構造解説チラシ

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 【羽黒松ヶ岡地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～令和14年度

支援事業名 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 「史跡松ヶ岡開墾場保存管理計画策定報告」に基づき、平成10年度から年次的に行っている蚕室等保存修理の継続と防災設備設置工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

明治初期、松ヶ岡開墾場では、蚕室群と合わせて、養蚕のための桑葉を保管した「貯桑土蔵」が5棟建造された。貯桑土蔵は1棟のみが現存し、全国的に稀有な文化財として歴史的価値が認められているが、老朽化により建物全体にゆがみや雨漏りが生じている。
貯桑土蔵保存修理に向けて、令和2年度は現状図の作成、令和3年度は基本設計、令和4年度は痕跡調査を行った。当該土蔵の部材を保持・再利用するため、施工方法を躯体のジャッキアップを行う半解体工事として、令和5年度は実施設計を行った。
令和6年度に半解体工事、令和7・8年度2ヶ年で復原整備工事を実施し、令和9年度より体験施設等として活用開始する予定。

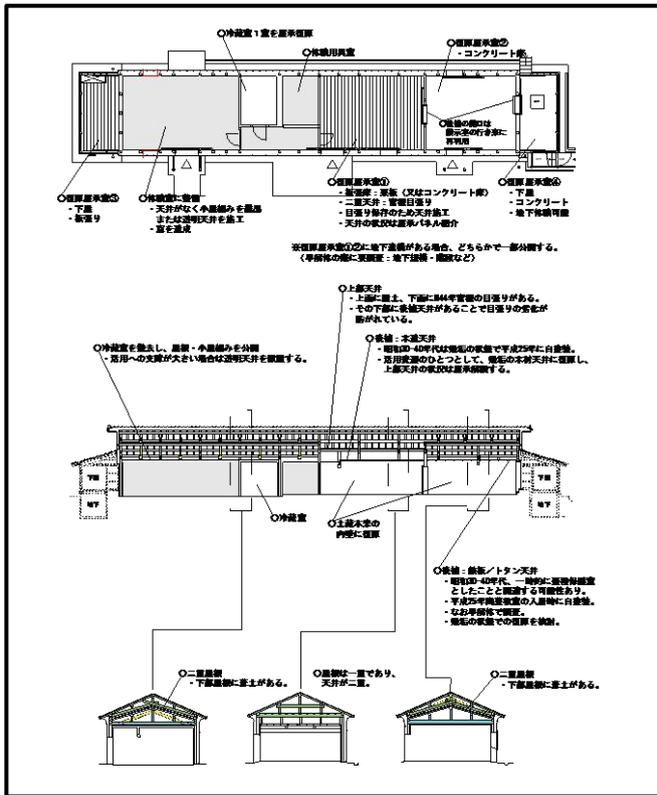
進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 各建造物は約150年が経過していることで、老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要。それぞれの現状を確認しながら、適切に保存修理を実施していく。
-------------------------------	--

状況を示す写真や資料等



貯桑土蔵(南面)からは建物の歪みが視認できる



貯桑土蔵の保存修理・活用整備のイメージ。屋根の小屋組の構造が整合しないなど、現状に不明な点が残り、半解体工事の中で調査を行う予定。

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
民俗芸能保存伝承支援事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和14年度

支援事業名 市単独事業 山形ふるさと塾形成事業、(財)地域創造助成事業

計画に記載している内容

- ・無形民俗文化財民俗芸能に関する支援を実施する。
- ・無形民俗文化財保存団体の活動助成及び継承に必要な衣装や道具の更新等に関する費用等の各種助成制度の情報提供など必要な支援を行う。
- ・過去に作成した無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化と、未記録の無形民俗文化財について新たな記録保存を行う。
- ・無形民俗文化財保存団体のネットワーク構築や発表機会創出等の検討及び開催支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・保存継承活動のための補助金として、藤島伝統芸能振興協会、高寺八講保存会、町屋神楽保存会、黒川能保存会、山五十川古典芸能保存会、木野俣獅子踊り保存会、小国八幡宮弓射神事保存会に対し、補助金交付要綱に基づき補助対象経費の2分の1の額(上限額あり)を交付しており、今年度も交付した。

・(一財)丸高歴史文化財団は(株)丸高が地域文化の向上発展に寄与するため設立された財団で、伝統工芸の継承や伝統芸能の保存に尽力している団体等に資金援助している。これについて市内の無形民俗文化財保存団体に周知を図った。(採択件数:令和元年度3件、令和2年度2件、令和3年度1件、令和4年度1件、令和5年度1件)

・『民俗芸能保存団体情報交換会』を開催し、各団体がそれぞれの規模でどのような悩みを抱えているか把握し、相互交流を通して活動の存続と発展のための機会とし協議会立上げについても意見交換を行った。

・『鶴岡市民俗芸能交流発表会』を開催し、担い手のやりがいの場の創出を図り、また市民が地元の民俗芸能の保存継承活動を知るうえで貴重な機会になっている。(一般財団法人地域創造「地域伝統芸能等保存事業(地方フェスティバル助成事業)」を活用。)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	将来的には市内民俗芸能団体同士が組織をつくり、発表会の開催等保存継承のための取り組みを自主的に実施できるように方向づけていく。
-------------------------------	---

状況を示す写真や資料等



令和5年度 民俗芸能保存団体情報交換会
(令和5年8月29日 会場: 荘銀タクト鶴岡)



市が保存継承活動を支援する
「山五十川歌舞伎」



令和5年度 丸高歴史文化財団助成決定団体
「高寺八講保存会」



令和5年度 鶴岡市民俗芸能交流発表会
(令和6年2月4日開催 会場 荘銀タクト鶴岡)

評価軸④-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- ・未指定文化財について、必要に応じて調査を行い、市指定や国の登録制度を活用することを検討するなどし保存継承に努める。
- ・埋蔵文化財包蔵地については、現状把握及び適切な保護措置に取り組む。また、未発見の埋蔵文化財の保護のため、民間事業者の開発行為の事前把握に努め、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努める。
- ・鶴岡市文化財保護審議会により、文化財の保存及び活用について教育委員会の諮問に応じ調査研究を行うなどし意見具申を行う。
- ・保存活用計画の未策定文化財については、文化財としての価値を毀損することのないように適切な保存と活用について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・埋蔵文化財調査及び未指定文化財の現況調査を実施した。
 ・国指定史跡松ヶ岡開墾場については、毎月第1火曜日に事業所連絡会を開催し、11～15名の出席を得て市と関係者の意思疎通を図った。連絡会の開催を通じて事業者や地域の関係者の理解を得ることにより史跡内の保存活用計画を推進できた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 埋蔵文化財等文化財調査
 - ・現地踏査実施箇所 2ヶ所 市内大広地内、鼠ヶ関地内
 - ・立会調査実施箇所 11ヶ所 「国史跡松ヶ岡開墾場」「鶴ヶ岡城跡」「鳥居上遺跡」等
 - ・試掘調査実施箇所 3ヶ所 「尾浦城跡」「古郡館跡」、大規模開発
 - ・埋蔵文化財包蔵地に係る各種事業照会(令和6年1月19日現在) 公共事業 2件、民間事業209件 合計211件
- 文化財指定
 - ・文化財保護審議会開催
- 計画策定等
 - ・第3回史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画監理委員会(令和5年6月28日書面開催)
 - ・史跡松ヶ岡開墾場事業所連絡会(毎月第一火曜日開催)



令和5年9月21日
古郡館跡試掘調査風景



令和5年8月23日
大規模開発(鼠ヶ関地内)試掘調査風景

評価軸④-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

文化財の修理、周辺環境の整備

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

・文化財の修理について、所有者及び管理者等と連携し、適切な助言や必要な支援措置を検討し進める。
 ・指定文化財の保存修理にあたっては過去の調査記録などの成果を活用するとともに、有識者、専門家より意見聴取を行い、それらの知見を踏まえた総合的な整備を図る。
 ① 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業
 ② 重要文化財羽黒山正善院黄金堂防災事業
 ③ 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業
 ・文化財の周辺環境は、関係規制、制度の積極的な活用により、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る。また、重点区域においては歴史的風致の維持及び向上を図るための周辺道路の高質化・美装化や無電線化などの整備事業など文化財及びその周囲の景観や環境との調和を図る。
 ・文化財建造物について、所有者及び管理者と連携し自動火災報知設備及び消火器具等の設置を図り、所有者及び地域住民、消防署が一体となった防災訓練の実施に努める。
 ・文化財を展示公開している施設について、防犯に対処するために必要な措置を講ずるよう指導するとともに、常日頃からの防犯・防災への意識の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・指定文化財の所有者が実施した保存修理事業に対して、市は補助金を交付して支援を行った。
 ① 国宝羽黒山五重塔及び重要文化財羽黒山鐘楼保存修理事業：宗教法人月山神社・出羽神社・湯殿山神社
 ・史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業について、令和5年度は貯桑土蔵半解体工事実施設計や周辺遺構調査を実施した。
 ・文化財防火デーに合わせて防火訓練を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

史跡松ヶ岡開墾場内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼ね合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じてきている。計画の見直しを行いつつ着実に保存修理を進める。

状況を示す写真や資料等

○国宝羽黒山五重塔及び重要文化財羽黒山鐘楼保存修理事業



茅葺屋根の葺き替え(重要文化財羽黒山鐘楼)



柿葺きの屋根の葺き替え(国宝羽黒山五重塔)

○史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業



貯桑土蔵周辺遺構調査(史跡松ヶ岡開墾場)

○文化財防火デー



令和6年1月26日 致道博物館
(旧渋谷家住宅、旧西田川郡役所、旧鶴岡警察署庁舎など)

評価軸④-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	・所有者及び管理者と市が連携をとりながら、文化財の保存に努めるとともに、鶴岡の歴史的風致の維持向上のために文化財の公開に努めるなど啓蒙普及を図る。また、特に重点区域においては、案内板整備及び説明板や解説資料の充実も図る。 ・文化財の存在とその価値について広く理解を得るため、市と文化財所有者・管理者が連携して、文化財の公開に努め、気軽に親しむことができる機会の創出及び市広報やHPを活用し情報発信を行う。 ・様々な文化財に関わる団体の活動により、近年は、歴史的文化の重要性の再認識やその保護・活用に対する市民の関心は高まりつつあることから、今後は一層、これらの団体への情報提供に努めるとともに相互に連携し、市民の文化財の保存・活用への意識高揚を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和4～6年度にかけて行われている「羽黒山五重塔及び羽黒山鐘楼保存修理工事」に係り、鐘楼の屋根葺き替え現場の見学会を実施した。 ・市内の文化財を知る機会や守り伝えていく啓発事業として、小学生向けに「つるおか文化財めぐり」を1テーマで2回開催した。 ・民俗芸能交流発表会を開催し、地域に伝わる伝統芸能を広く市民の方へ周知する機会を創出した。 ・研修・講演・会報の発行などに取り組んでいる文化財愛護協会の活動を支援することで、市民の文化財愛護思想の啓発を推進した。 ・文化財防火デーに合わせて防火訓練を行った。 ・有形文化財所有者や無形民俗文化財保持団体等に対し、民間団体の助成を周知し、申請希望者への支援を行った。 ・令和3年に鶴ヶ岡城跡馬出遺構から出土した石を活用し、鶴岡公園内の一角を本市の歴史を親しみやすく身近に感じる区画として整備した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
「つるおか文化財めぐり」(令和5年7月23日、8月10日) (安倍家住宅、東田川郡役所及び郡会議事堂: 参加者親子14組 31名)		鶴ヶ岡城跡馬出遺構出土石活用整備 (鶴岡公園東側の一区画を整備)	
			
重要文化財「羽黒山鐘楼」保存修理見学会 (令和5年10月7日 参加者 19名)		文化財防火デー消防訓練 (令和6年1月21日 重要文化財 水上八幡神社本殿)	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度 年月日	令和5年度 掲載紙等
鶴岡の風致維持向上計画の第2期 国の認定を受ける	令和5年4月1日	荘内日報
コロナ禍前と同様にパレード「化けもの」振る舞い行わず	令和5年4月8日	荘内日報
二の丸広場にぎわい創出 鶴岡公園5月からキッチンカー出店	令和5年4月13日	荘内日報
酒井家の歴史と徳川家康 庄内入部401年特別展記念講演会	令和5年4月16日	荘内日報
鶴岡の絹 スカーフで発信 鶴岡シルク新ブランド 最高級、着け心地柔らか	令和5年4月15日	山形新聞
20年に一度の柿葺き替え工事 羽黒山五重塔「令和の大修復」5月8日開始	令和5年4月28日	荘内日報
「化けもの」衣装やいわれ紹介 天神祭前に朝陽三小で出前講座	令和5年5月9日	荘内日報
癒やしの空間「ほっと」 「釈迦堂」白ツツジが見頃	令和5年5月12日	荘内日報
致道館の伝統 脈々と 少年少女古典素読教室参加募る	令和5年5月17日	荘内日報
鶴岡天神祭24、25日開催 パレードは2コースが復活	令和5年5月19日	コミュニティしんぶん
「お鉢様」宮入り 山王日枝神社 春の例大祭	令和5年5月20日	荘内日報
ちょうちん、のぼり旗など設置 鶴岡天神祭 盛り上げよう 地元住民が活動、きょう開幕	令和5年5月24日	山形新聞
化けもの 愛らしく 鶴岡天神祭・本祭り	令和5年5月26日	山形新聞
「化けもの」城下町闊歩 鶴岡「天神祭」パレードにぎやかに	令和5年5月26日	荘内日報
鶴岡の絹文化体験 女子高校生の視点で魅力発信 鶴岡中央 和服姿で市街地巡る	令和5年5月31日	荘内日報
家康と忠次が歩んだ戦国時代 酒井家庄内入部400年「NEXT100」歴史講演会	令和5年6月6日	荘内日報
入部400年“次なる一歩”へ 東京で庄内藩酒井家シンポジウム	令和5年7月13日	山形新聞
花梵天 夢中で手伸ばし 鶴岡 出羽三山神社「花まつり」	令和5年7月16日	山形新聞
いくつ暗唱できるかな? 庄内論語 素読検定に挑戦	令和5年7月26日	荘内日報
プロジェクトマッピング 五重塔 幻想	令和5年8月13日	山形新聞
酒井家庄内入部400年から 次の100年へ新たな一歩 鶴岡・庄内神社例大祭	令和5年8月19日	荘内日報
守れ 羽黒山のスギ並木 鶴岡 住民有志、行政、研究機関が連携	令和5年8月26日	山形新聞
修験の道へ 出羽三山神社「秋の峰入り」	令和5年8月27日	山形新聞
大蚕室 夕闇に浮かび上がる 松ヶ岡開墾場 期間限定「サムライシルクナイト」	令和5年9月27日	荘内日報
旧庄内藩 酒井家 大名行列くねる 庄内大祭	令和5年10月8日	荘内日報
「羽黒山鐘楼」24年ぶりふき替え 貴重な体験 重文保存修理を見学	令和5年10月9日	荘内日報
シルクの衣装で優雅に 鶴岡中央高生 蚕室でショー	令和5年10月9日	山形新聞
忠次公命日に「酒井家墓所」初の一般公開	令和5年10月27日	荘内日報
「酒井家墓所」特別公開に400人超 合同墓前祭・法要 首都圏や三河地方からも	令和5年10月29日	荘内日報
羽黒山スギ並木危険木デモ調査	令和5年11月10日	荘内日報
羽黒山のスギ並木腐食の状況いかに	令和5年11月18日	山形新聞
文化財を守れ! 防火デー訓練行	令和6年1月28日	荘内日報
山五十川歌舞伎初披露 鶴岡市民俗芸能交流発表会 次世代に継承 6団体が共演	令和6年2月10日	荘内日報
手向のまちづくり語り合う 出羽三山門前町の魅力発信へ	令和6年3月12日	荘内日報
県文化財に3件指定へ 仏像、塔時計、郡役所文書	令和6年3月16日	山形新聞
常念寺の“大時計” 県文化財に 旧西田川郡役所塔時計 国産最古 時の大切さ伝える	令和6年3月17日	荘内日報
ブルーインパルス再び 5月25日天神祭で展示飛行	令和6年3月23日	荘内日報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の各重点区域における歴史的風致に関して広く報道・情報発信されている。
歴史的建造物や伝統文化・祭礼のほか、新たな歴まち計画に位置付けた取り組みに関する報道も行われており、本市の歴史的風致・伝統文化・歴史まちづくりに対する関心が喚起され、広く周知されていると考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



シルクガールズコレクションin松ヶ岡(再掲)



歴史講演会(再掲)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

歴史的風致維持向上計画事業実施の効果

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【鶴岡市における外国人宿泊者数の推移】

外国人延べ宿泊者数については、計画認定を受けた平成25年(2013)は2,760人であったが、歴史的風致の向上等魅力ある観光資源の構築や日本遺産の認定などにより、以後毎年増加傾向にあり、令和元年(2019)においては13,047人と約4.7倍の増加となった。令和2年(2020)以降はコロナ禍により減少に転じているが、令和4年(2022)は増加の傾向がみられた。※平成29年(2017年)の数値は、前後の年度の実績と大きな乖離があるが、具体的な要因は観光庁でも不明。

【羽黒手向地区】

宿坊街の沿道空間は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素であり、統一感のある修景整備を行うことで良好な景観形成を行っている

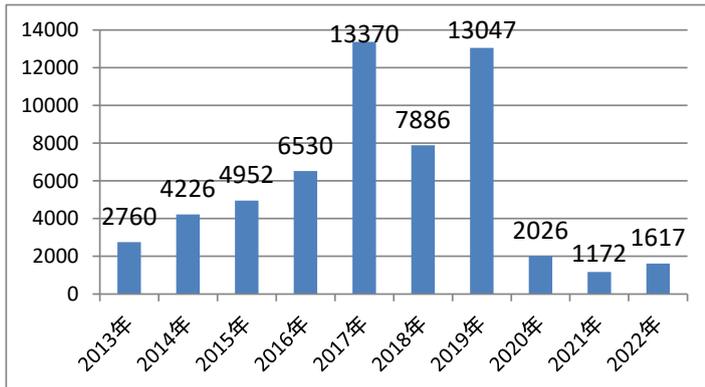
平成29年度から修景整備に取り組み、令和5年度まで44件の整備が行われた。道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構、宿坊街の佇まいを感じる特徴的な建造物の修景整備により、地域住民はもとより、手向地区に訪れる国内外の観光客等にも、平成28年度に日本遺産に認定された出羽三山の構成要素でもある手向地区宿坊街の歴史的風致が体感できる空間を構成している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



鶴岡市における外国人延べ宿泊者数の推移(人泊)
※観光庁「宿泊旅行調査」より

※参考

コロナ禍による日本全体の外国旅行者の減よりも鶴岡市における旅行者の減の割合は少ない

観光庁より

○訪日外国旅行者数

2019年:3,188万人→2020年:412万人(△87.1%)

○鶴岡市における外国人宿泊者数

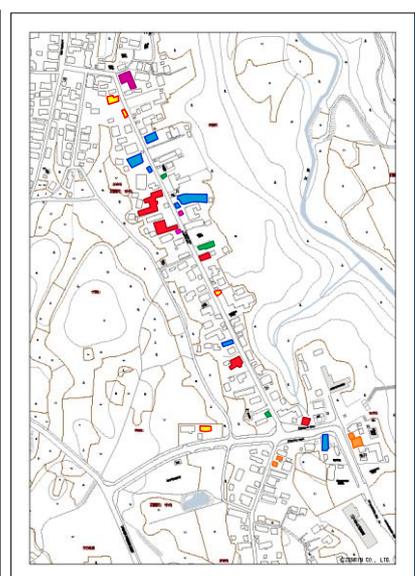
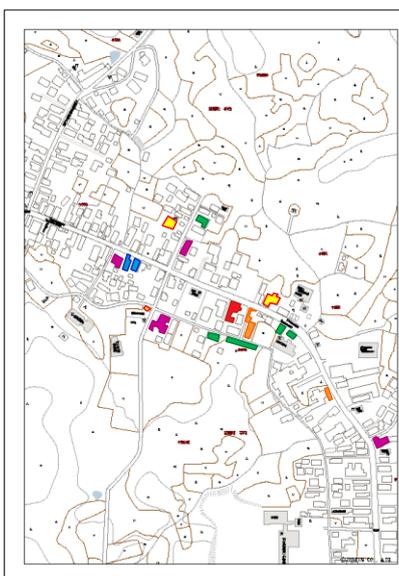
2019年:13,047人→2020年:2,026人(△84.5%)

現在の状況:2023年1月~10月:5,303人

【羽黒手向地区】

宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 事業実績:44件

・平成29年度:6件 平成30年度:7件 令和元年度:6件 令和2年度:6件 令和3年度:7件 令和4年度:7件 令和5年度:5件



■ 29年度施工(6) ■ 30年度施工(7) ■ 31年度施工(6) ■ R2年度施工(6) ■ R3年度施工(7) ■ R4年度施工(7)

評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 令和5年度

項目

歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市内の学生・町内会等への歴史景観づくりの説明、他自治体からの視察対応、歴史的風致維持向上計画関連会議・サミット等への参加と本市の歴史・まちづくり、歴史的風致維持向上計画説明により、計画の周知を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

- ・令和5年6月 新都市令和5年6月号掲載(公益財団法人 都市計画協会)
鶴岡市における景観まちづくりの取組み
(鶴岡市歴史的風致維持向上計画(第2期)、鶴岡市景観計画)
- ・令和5年8月30日 令和5年度 景観行政セミナー 講師(山形県と秋田県共催)
対象者:国土交通省都市局公園緑地・景観課、東北地方整備局計画管理課
山形県・秋田県行政職員・関係者 68名
- ・令和5年10月12日～13日 令和5年度 全国景観会議 講師
対象者:全国行政関係職員・関係者 71名

令和5年度は、他自治体・団体等からの視察依頼など、対応件数は例年に比べ少なかった。

一方で、本市の歴史まちづくりや景観形成に関する取組みなどは、上記により、市内外へ広く情報発信・普及啓発が図られた。

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和6年2月20日(火)10:00	
(コメントの概要)	
<p>【会議結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業についての評価・報告、鶴岡市歴史的風致維持向上計画の変更についての承認 <p>【主なコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆全体 <ul style="list-style-type: none"> ・訪れてもらう、文化に触れる、滞在するなどの仕掛けを検討してほしい。 ◆個別事業 <ul style="list-style-type: none"> ・整備方針策定業務 <ul style="list-style-type: none"> 歴史的建造物を調査し歴史的風致形成建造物に指定するに当たり、物件調査を行ったが指定されない理由はあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> →歴史的風致形成建造物に指定する場合は、税制面優遇や国庫補助等での支援はあるが、一方で増改築等の届出のほか一般公開、保存・維持管理など一定の制約があり、それらを踏まえて所有者の合意までに至らない案件もある。歴史的建造物の保存は必要と思うが、所有者とも協議を行いながら進めていく必要がある。 ・普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> 案内板などへのQRコード付与や外国語変換機能などを充実してほしい。 歴史まちづくりや観光等に関する情報発信、ツールを様々取り組んでほしい。 ◆効果測定 <ul style="list-style-type: none"> ・効果指標として外国人延べ宿泊者数があるが、県内・国内を対象とした指標も検討してはいかがか。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくり、観光等に関する情報発信のあり方、普及啓発手法や様々なツールを活用したコンテンツなどを今後検討していきたい。 ・整備計画では重点区域の歩行者数や施設来訪者数の指標はあるが、効果指標は今後も継続して検討していきたい。 ・令和14年度までの計画期間において、費用対効果も踏まえ優先順位をつけながら効果的な事業を展開していきたい。 	